



題字デザイン: 紀藤建一さん

建物は雨や風から私たちを守っています。テントや洞窟でも寝泊まりはできますが、一年を通してはむずかしいです。

ご飯を食べたり、テレビを見たり、夜寝ている間も私たちを守っています。

私たちは朝、「家」を出て「学校や会社」に通います。夕方は逆です。これは、「建物から建物へ移動している。」と考えることもできます。出発地は建物で目的地も建物です。自転車・車・電車・飛行機は移動手段です。

安全な建物、住みやすい建物とはどんな建物でしょう？

一緒に建物の勉強をしてみませんか？一緒にデザインの勉強もしてみませんか？

よいデザインは私たちの心を癒し、寄り添い、包み込んでくれるものです。

建築とデザインは人生における必修科目です。

卒業後の進路は、建築関係への就職だけではなくありません。他の学科の人と同じ製造業で働く人もいます。

大学生や公務員になる人もいます。どの進路に進んでも、あなたや周りの人の人生を豊かにしてくれる学問です。



### 建築デザイン科の卒業で7年間短縮！（二級建築士の受験）

建物を設計するには**建築士**という資格が必要です。二級建築士の学科試験は、半田工科の他の科や他の高校の卒業だと7年間建築の仕事をしてからでないと受験できません。半田工科の**建築デザイン科**は特別に認められているので卒業したその年に受験できます。7年間短縮です！



### 建築デザイン科の1年生が学んでいること

手描きの製図（まだ途中で）→



ロゴマークのデザイン



3Dソフトの住宅デザイン



住宅模型の製作



木材の加工

建築やデザインに関する物づくりの様子です。女子も頑張っています（木材加工と製図は女子です）。



### これからの建築技術

建設用3Dプリンタの活用が期待されています。アメリカでは55~75㎡の平家建住宅が24時間で建設でき、建設費用は45万円程度だそうです。地震の多い日本ではまだ開発途中ですが活用されれば仕事内容や現場の雰囲気が大きく変わるかもしれません。



### 紀藤建一さんデザインの題字について

本校建築科卒業のデザイナー紀藤建一さん（半田中学出身）にお願いしたものです。「半田市内を走っていた山車祭りのラッピングバスと同じイメージの看板を作ってください。」と、お願いしました。紀藤さんは最初、文字もデザインすると言ってくれましたが、急なお願いで申し訳ないので早くできるよう、一般的なゴシック体のフォントで作っていただきました。

